

サルたちの“旬”をお届け！！

サル舎 NEWS

第3報
2014年4月

旅立ちの季節

春です。旅立ちの季節ですね。
サル舎でも、この春、動物の「旅立ち」がありました。



3月26日、フサオマキザルのアキラ・フミヒロ・カヲルが京都市動物園から旅立っていきました。アキラは「チャレンジ精神溢れるトラブルメーカー」。フミヒロは「周りをよく見ている賢い子」。カヲルは「周囲をいつも気にしている大人しい子」。それが、私が彼女たちに抱いていた印象です。

アキラ・フミヒロは、去年の8月に生まれたタマキをよく背中に乗せていました。シゲコやヨシコに比べると、つかまらせ方が下手だな…と感じる時もありましたが、彼女たちにとっては「お母さんになる良い練習」になったのではと思います。



背中に乗せてくれるおばさんやお姉さんがいなくなり、タマキは寂しがっているかもしれません。

タマキを背負う
アキラ（上）と
フミヒロ（下）

最近のタマキ



アキラ・フミヒロ・カヲルがいなくなって、がらんとしたフサオマキザルの部屋を見ると私も寂しい気持ちになります。3頭からは、子育てに協力するフサオマキザルの姿など、色々なことを教えてもらいました。新しい施設でも、元気に過ごしてもらいたいなと思います。

